

第5期総合計画推進管理評価調書の変更点について

昨年度の推進委員会での意見等を踏まえ、役場内部で組織している評価委員会においても検討を行い、調書の一部を修正しました。主な変更点と内容は以下のとおりです。

○主な変更点

(1) 施策の点検・評価の達成状況の評価基準の変更

・昨年度

- | | | |
|---|--------------------|--|
| 5 | 順調に進んでいる (80~100%) | (成果の推移等も踏まえ、施策に向けて、事務事業や関連する取組が順調に進んでいる) |
| 4 | やや遅れがある (50~80%未満) | (想定よりも進み具合が遅いが、施策に向けてある程度進んでいる) |
| 3 | 遅れがある (20~50%未満) | (施策に向けて、事務事業や関連する取組があまり進んでいない) |
| 2 | 着手した程度、未着手 (20%未満) | (施策に向けて、事務事業や関連する取組が進み始めたばかりである、着手する予定であったが未着手である) |
| 1 | 施策の目的を達成し、完了している | |

・今年度

- | | | |
|----------|-----------------------------|--|
| 5 | 順調に進んでいる (80~100%) | (成果の推移等も踏まえ、施策に向けて、事務事業や関連する取組が順調に進んでいる) |
| <u>4</u> | <u>ある程度進んでいる (50~80%未満)</u> | <u>(施策に向けてある程度進んでいる)</u> |
| 3 | 遅れがある (20~50%未満) | (施策に向けて、事務事業や関連する取組があまり進んでいない) |
| <u>2</u> | <u>着手した程度 (20%未満)</u> | <u>(施策に向けて、事務事業や関連する取組が進み始めたばかりである)</u> |
| <u>1</u> | <u>未着手 (0%)</u> | <u>(未着手である)</u> |

昨年度までは、計画どおり事務事業を行い施策の推進が図られれば、推進状況は「5」になっていくという考え方でした。今年度からは、計画どおり施策の推進が図られれば「4」、その中でも特に施策の推進が図られていれば「5」とし、「4」を標準とする評価体系としています。そのため、4を「ある程度進んでいる」と幅を持たせた表現に変更しました。

また、2の「着手した程度、未着手」という評価を「1」「2」に分離することにより、5段階評価にするとともに、施策の完了を項目から削除しました。施策が完了した場合は、推進状況の評価を空欄にします。

(2) 事務事業の評価の達成度の変更

・昨年度

- | | |
|---|---------------------|
| 3 | 順調に進んでいる (80%~100%) |
| 2 | やや遅れがある (50%~80%未満) |
| 1 | 遅れがある、未着手 (50%未満) |

・今年度

- | | |
|----------|------------------------------|
| 3 | 順調に進んでいる (80%~100%) |
| <u>2</u> | <u>ある程度進んでいる (50%~80%未満)</u> |
| 1 | 遅れがある、未着手 (50%未満) |

施策の評価の変更に合わせて、事務事業の評価の「2」も変更しています。

第5期総合計画:推進管理評価調書【施策(個表)】

重点項目								担当部署		
重点施策									重点	
施策の成果を表す代表的な数値	区分	数値の名称		説明						
	数値1									
	数値2									
数値推移の等 【数値の測定年・年度】	区分	単位	22年度実績 (基準年度)	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度見込		
	数値1		(基準年度対比)							
		特記事項								
	数値2		(基準年度対比)							
		特記事項								
施策の点検・評価	区分	必要性				推進状況				
		評価	評価理由			評価	評価理由			
	23年度									
	24年度									
	25年度									
	26年度									
	27年度見込									
評価基準	必要性	5 重点及び早急に推進することが必要な施策 4 更なる推進が必要な施策 3 現状で推進する施策 2 現状においては推進に時間を要する施策 1 制度等の廃止や施策の達成により、推進の必要がない施策								
	推進状況	5 順調に進んでいる(80~100%) (成果の推移等も踏まえ、施策に向けて、事務事業や関連する取組が順調に進んでいる) 4 ある程度進んでいる(50%~80%未満) (施策に向けてある程度進んでいる) 3 遅れがある(20%~50%未満) (施策に向けて、事務事業や関連する取組があまり進んでいない) 2 着手した程度(20%未満) (施策に向けて、事務事業や関連する取組が進み始めたばかりである) 1 未着手(0%) (未着手である)								
施策評価 (二十四年度)	区分	分析・評価(基準年度から当該年度までの間)								
	成果の推移									
	施策の課題									
	総合評価 (施策の方向性)									

(1)修正箇所

1. 実績の推移等

事業番号	事務事業名	事業費実績額(単位:千円)						実施における特記事項 (実施内容等の見直しなどの状況、 実施結果及びコストにおける課題など)
		22年度 (参考)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	
01								
02								
03								
04								
05								
06								
合 計								

2. 代表的な成果の推移等

事業番号	成果名	単位	代表的な成果数値						成果における特記事項 (事務事業の実施以外で、数値に影響が あった内容)
			22年度 (参考)	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 見込み	
01									
02									
03									
04									
05									
06									

3. 事務事業の評価

事業番号	23年度		24年度		25年度	貢献度	達成度	(実施に対する事務事業の貢献度)
	貢献度	達成度	貢献度	達成度				
1								3 大きく貢献している(施策の内容に直結する事務事業)
2								2 貢献している(施策を推進する事務事業)
3								1 貢献していない
4								(実施年度における事務事業の達成度)
5								3 順調に進んでいる(80%~100%)
6								2 ある程度進んでいる(50%~80%)
平均								1 遅れがある、未着手(50%未満)

(2)修正箇所